

# ようこそ分子ウイルス分野へ

松浦善治

大阪大学微生物病研究所分子ウイルス分野

E-mail: matsuura@biken.osaka-u.ac.jp

HP: <http://www-yoshi.biken.osaka-u.ac.jp>



20世紀中に人類は感染症を征圧できると誰もが信じていましたが、エイズやウイルス性肝炎の蔓延、突如として出現した重症急性呼吸器症候群(SARS)による大混乱、トリインフルエンザや口蹄疫による家畜の大量殺処分、そして、ヒトインフルエンザの大流行の懸念などで、多くの方がウイルスに関心をもつようになりました。

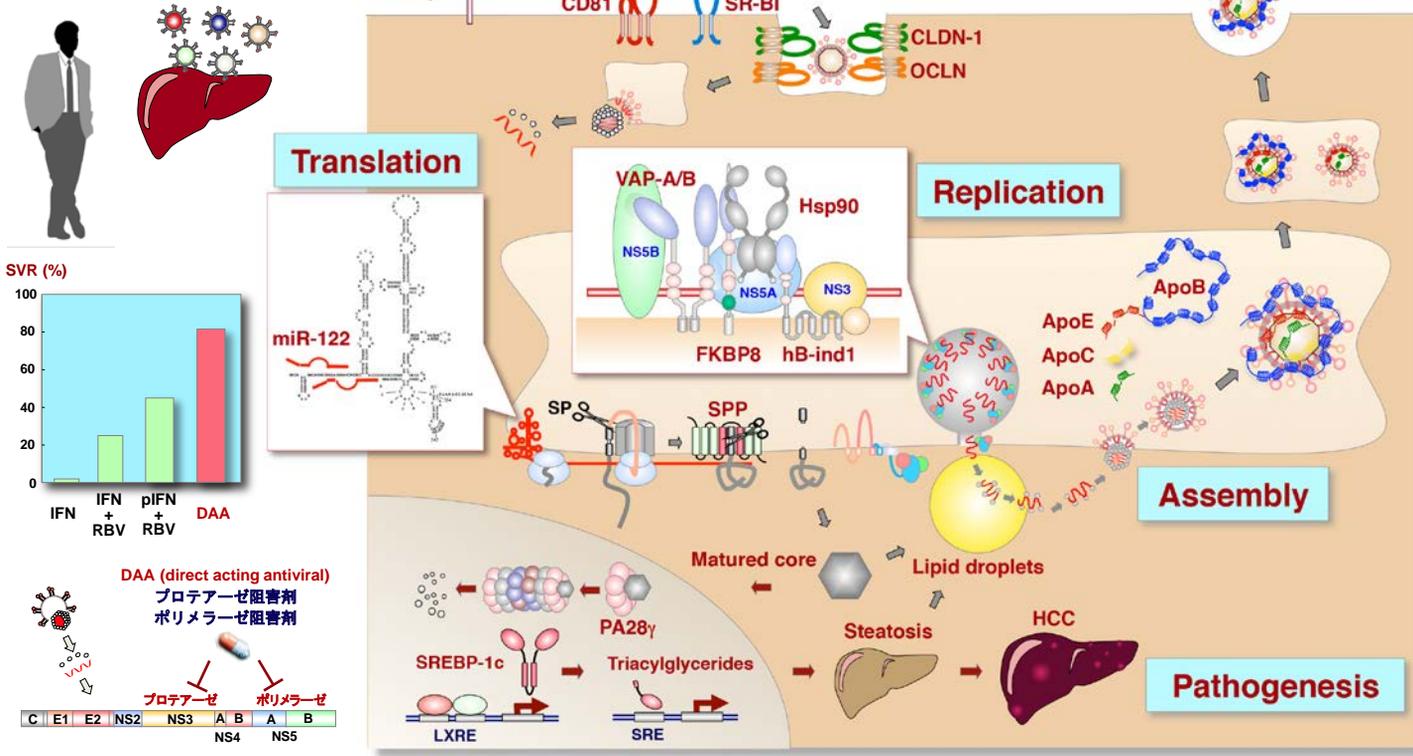
**在籍者の進路** (博士卒 22名、修士卒 2名、ポスドク&教員 20名)

大学教員 18名 (教授 1、准教授8、講師 2、助教 7)  
 国立感染症研究所 9名 (室長 3、主任研究員 4、研究員 2)  
 企業 7名、博士研究員 2名、勤務医 2名、公務員 2名  
 海外留学者総数 11名 (現在 3名)

ウイルスは細菌とは異なり、生きた細胞でしか増殖できない“**偏性細胞寄生性**”の微生物です。宿主と折り合いを付けて長く居座るC型肝炎ウイルスやヘルペスウイルス、大暴れして細胞をめちやくちやにして出て行くSARSコロナウイルスやインフルエンザウイルスなど個性は様々です。いずれにしても、ウイルスは細胞にとっては異物ですので、生体は排除を試みますが、ウイルスは宿主の免疫応答から巧みに逃れます。即ち、**ウイルスは我々よりも細胞を熟知**しており、防衛策を周到に準備しています。また、逆転写酵素やスプライシングなどの細胞生物学のエポックは、ウイルス研究の成果です。この様に**ウイルス研究は感染症の征圧だけでなく、細胞生物学の進歩にも大きく貢献**してきました。

私たちの研究室では**肝炎ウイルス (C型、B型、E型)、日本脳炎ウイルス**、そして、**昆虫のバキュロウイルス**の研究に取り組んでいます。自分の設計図だけを小さな殻に詰め込んで、細胞間を渡り歩きながら子孫を維持しているウイルスは、凄さを通り越して美しささえ感じさせる生命体です。あなたもウイルスの面白さ、研究する人生の厳しさや喜びを体感し、自立した研究者として羽ばたいて見ませんか。

## C型肝炎ウイルス



### ウイルス学の参考資料

“バイオハザード” ケン・アリベック著 米ソ冷戦時代にロシアで行われた生物兵器開発の暴露本 二見書房 1999年  
 “根絶” 上田 哲著 日本でのポリオ大流行とロシアから生ワクチンの超法規的緊急輸入の実話  
 絶版ですがネットに公開されています <http://www.geocities.jp/hokukaido/konzetu/index.htm>  
 YouTube “ポリオ日本根絶の記録” <http://www.youtube.com/watch?v=oX6bh64kAgQ>